



都内企業の景況感

— 第122回企業動向調査結果 平成27年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復、先行きも改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況をみると、自社業況判断DI*が、前回の-2.3から今回11.3へと13.6ポイント上昇し、回復している。先行きについて同DI*は14.7へと上昇する見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	-2.3	⇒	11.3 (前回予想 5.5)	⇒	14.7
2. 売上高DI*は、前回の-5.9から今回2.7へと8.6ポイント上昇、経常利益DI*は、-4.9から3.3へ8.2ポイント上昇した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	-5.9	⇒	2.7 (前回予想 0.4)	⇒	5.2
	経常利益 DI*	-4.9	⇒	3.3 (前回予想 -3.1)	⇒	4.5
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回5.3と0.1ポイント上昇、仕入れ価格DIは、17.1と10.6ポイント低下した。先行きは、販売価格DIは低下、仕入れ価格DIは上昇する見通し。	販売価格 DI	5.2	⇒	5.3	⇒	4.6
	仕入れ価格 DI	27.7	⇒	17.1	⇒	20.8
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の6.6から今回8.8へと2.2ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の8.4から今回7.6へと0.8ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-9.3	⇒	-11.1	⇒	...
	設備資金需要 DI*	6.6	⇒	8.8	⇒	15.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回22.4と1.4ポイント低下、資金繰りDIは、今回5.0と4.8ポイント低下した。	運転資金需要 DI*	8.4	⇒	7.6	⇒	14.0
	金融機関借入 難易感 DI	23.8	⇒	22.4	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア16.8%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じく「人材難」が13.5%、第3位は、前回5位の「労働力不足・求人難」で13.2%だった。第4位は、前回と同じく「売上不振」で12.7%、第5位は、「原材料高・仕入価格高」で9.0%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」5.9%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.6%、第8位は、「合理化不足」5.1%であった。	資金繰り DI	9.8	⇒	5.0	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.0	⇒	16.8		
	人材難	13.8	⇒	13.5		
	労働力不足・求人難	11.2	⇒	13.2		
	売上不振	12.2	⇒	12.7		
	原材料高・仕入価格高	12.5	⇒	9.0		
	人件費等経費の増加	5.8	⇒	5.9		
	取引先からの値引き要請	6.4	⇒	5.6		
	合理化不足	2.9	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回-1.6、今回6.5、先行き9.9)で判断したもので、前回は「うす曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。